

中華人民共和国上海市閘北区と 友好交流覚書を締結

市は、昨年から交流を進めている中国上海市閘北区と11月3日、「友好交流に関する覚書」を締結しました。今後、相互交流の拡大に努めるとともに、具体的な交流事業や相互協力についての検討を進めていきます。

2011. 11. 3



握手を交わす翁祖亮代理区長(右)と西原市長

市では11月2日から6日まで、西原市長を団長とする「牧之原市友好訪中団」を派遣しました。参加者は、市長、教育長、市議会議員や国際交流協会会長、茶業関係者や観光業関係者など23人。一行は二班に分かれ、上海市閘北区や江蘇省無錫市宜興市、同省蘇州市などを訪問しました。

閘北区との交流

閘北区には昨年、8月に市長、10月には市議会議員と副議長、副市長が訪問しました。11月には周平区長(当時)ら6人が来市し、歓迎式を開催するとともに、牧之原大茶園を案内するなど相互の交流を進めてきました。

閘北区とは

閘北区は上海市中心部の北側に位置し、面積29.2km²、常住人口は約90万人の大都市です。上海市内で最も活力のある地域の一つとして、現代サービス業の発展を進めるなど、近年、経済力が飛躍的に高まっています。市長をはじめとする15人の訪問班は、中国全土の茶葉が集まる大寧国際お茶市場、大寧国際商業広場、海上文化センターなどを視察しました。

を深めた上で、来年度に本協定の締結を目指します。

宜興市への訪問

宜興市を訪問した八木教育長をはじめとする訪問班8人は、洪雅副市長や政府関係者らと会談。教育長が修学旅行生の派遣など、教育を通じた交流を要請するとともに、両市の友好を深めたいと呼び掛けました。この結果、12月15日に宜興市の教育関係者らで組織する訪問団が来市し、市内の小学校などを視察することになりました。今後、修学旅行生や観光客の誘致など交流の促進に取り組んでいきます。



蘇州市政府関係者との交流会で静岡牧之原市「望」をPR



閘北区の海上文化センター



閘北区の大寧国際お茶市場にて中国茶の紹介を受ける



中華人民共和国
人口 約13億5,000万人
面積 959万6,961km²

江蘇省
人口 約7,600万人
面積 102,600km²

宜興市

江蘇省無錫市宜興市-ギョウ市
●人口 約118万人
●面積 2,038km²
●位置 江蘇省南部(太湖の西岸)
●交通 上海市内から高速道路利用で約2時間30分
●4000年の古の都と近代産業が融和して発展した美しい自然環境に恵まれた都市。「磁器の景德鎮」に対して「陶器の宜興」として有名。



陶芸工房「長泰弘」にて。茶器のセットは数百万円するものも。

上海市閘北区-ザーベイ区
●人口 約90万人 ●面積 29.2km²
●位置 上海市中心部北側
●交通 富士山静岡空港就航先である上海浦東空港から車で約1時間
●市内最大の上海駅、アジア最大のバス・ステーション、中国最大のバラ積み貨物の物流ステーションを保有。優れた流通機能を活用した茶販売が盛んで中国全土から茶葉が集積している。



国際茶市場にて。茶葉の選別は手作業で行われていた。

友好交流協定の締結へ
市では、閘北区との交流を進めながら、市民の皆さんの理解

覚書の締結は、今後の友好交流や相互協力に向けて、「友好交流に関する覚書」を締結しました。覚書の締結式は11月3日、閘北区の大寧会議センターで、西原市長と翁祖亮閘北区代理区長、静岡県上海事務所長らが出席して行われました。締結式では、翁代理区長が「双方に共通する『お茶文化』によって、覚書の締結ができたと考えています。今後、さまざまな分野で交流を進め、共に発展することを願っています」とあいさつ。西原市長は「閘北区は中国全土のお茶の流通の中心地で、牧之原市は日本有数の茶産地です。覚書の締結により、両市区がますます発展していくことを確信しています」と述べました。覚書には、相互交流の幅広い実施について努力すること、経済、観光、文化、教育、衛生、環境保護などの広範囲な分野における交流の促進について協議することなどが、盛り込まれました。



宜興市の洪雅副市長(左)へ相良風を贈呈